

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 278 2025.5.28

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会

企画展「波佐まるごとミュージアム展」の開催

令和7年度の企画展は、「波佐まるごとミュージアム展」を開催します。金城資料館2館を中心とした半径1Km内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説します。

史跡、千年比丘一号墳は、4世紀前半の石見地方最古の古墳(直径15mの円墳)です。この古墳からは、弥生期の砥石が埋納されていました。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡は、縄文時代晩期から継続した3,500年前からの遺跡で、弥生・古墳・奈良時代の竪穴住居を伴った遺跡です。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅱ遺跡から発掘された縄文晩期以降の各時代別の埋蔵遺物も併せて展示しております。

中世の山岳城郭である、波佐一本松城は、風水を用いた連郭式城郭です。特に水堀施設、水撥ね施設のある唯一の城郭です。三面の裾野が切岸に加工され守りの城郭としての機能が見受けられます。

天然記念物「常磐の大杉」5株は、島根県指定で、日本老樹銘木にもなっています。神殿の裏山全体が、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。常磐山八幡宮は、文治元年に佐々木高綱創建の神社で、戦国時代には、尼子経久が再建して、宮座制が確立され、定紋は、四ツ目結。神輿には、尼子氏の定紋が使用されている。7月からは、常磐山八幡宮に奉納されていた、「黒革威胴丸」(室町期)も展示に加わります。(現在、北広島町の戦国の庭博物館へ展示貸出中の為)

他に、笠松峠の畳石路、能海寛のふるさと浄蓮寺・顕彰碑・ハクモクレン、永昌寺の大杉・尼子経久公の墓所、波佐天満宮、水見城、花城などまるごとミュージアム内の文化財施設の解説パネル展示もご覧いただき、スタンプラリー、歌碑めぐりツアーなどもお楽しみいただけます。

企画展『波佐まるごとミュージアム展』

会期：令和7年6月1日(日)～12月28日(日)

開館日：土曜・日曜日 午前9時～午後5時

(土・日曜日以外で入館希望のお方は事前に予約下さい)

会場：浜田市金城歴史民俗資料館 浜田市金城町波佐

連絡先：予約電話 090-4697-2818

